

～一年の計は元旦にあり～

保護者・地域の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

いよいよ3学期がスタートしました。3学期の始業式に54名全員の児童の顔を見ることができ、大変うれしく思っています。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。子ども達のなかには、今年目標を正月に立て、その目標達成に向けてすでに努力している子どもも多くいることでしょう。また、「初心忘るべからず」という言葉もあります。これは、「ものを学ぶに際して重要なことは、学び始めたころの心を忘れないこと」だそうです。

年は新たになりましたが、私は、3学期のスタートにあたって子ども達に今までと代わり映えのない言葉を示して話をしました。それは、「目標に向かって」「つづける」という言葉です。1年間、そして、この3学期「目標に向かって」こつこつと努力することを「つづけた」結果は、きっと「まとめの学期」である3学期に自分の力となって現れるところでしょう。「つづける」ことは、当たり前ではなく、しんどさも伴います。朝起きることや着替えもそうですし、帰ってからの宿題や着替え・荷物の片付けもです。学校では、1時間1時間の学習や掃除・ていねいに字を書くことなどもそうですね。そんなしんどさが伴う活動を「つづけて」行っている子ども達を大人はしっかりと評価しなくてははいけません。

保護者/地域の皆様、今年も、子ども達をしっかりと見ていただき、しっかり褒めていただければと思います。何卒、よろしくお願いいたします。

校長 田丸 栄